

# ケアラー支援アセスメント研修 開催要綱

**趣旨** ケアラーはこれまで「家族介護者」「家族内のケア問題」と認識されており、ケアラー自身の困りごとや人生についてはSOSを出しづらく、周囲から見えづらい存在でした。そのため、ケア世帯にかかわる専門職はケアラーの抱える課題にいち早く気づき、適切な支援につなげていくことが重要です。

本研修では、ケアラーに寄り添ったアセスメントをすすめるためのポイントとツールの活用方法について学びます。

## 研修のポイント！

### ケアラーアセスメントツールの 活用方法が学べます

ケアラー支援推進センターが作成した「ケアラー支援アセスメントシート」の活用方法がわかりやすく学べます。

### ケアラー支援をすすめるためのネットワークが 広がります

講師や他の参加者と意見を交換しながら進めるので、終了後も気軽に相談できる仲間づくりができます。

## 開催形式

集合

## 日程・会場

令和8年2月20日（金）  
札幌市／かでの2・7 5階510会議室

## 対 象

ケアラー支援に興味関心がある福祉関係者

※「ケアラー支援関係機関職員等研修（応用研修）または  
初年度研修を修了した方が望ましい

## 定 員

60名

※申込み多数の場合は、一事業所あたりの受講者数を制限、  
または先着順とする

## 研修費用

会員・準会員 5,000円 非会員 12,000円

## 申込期間

令和8年1月8日（金）～2月6日（金）

## 受講可否

令和8年2月13日（木）までにご連絡します。

## プログラム

時間	研修科目	研修内容
9 : 45～10 : 15	受付	研修費用の支払い
10 : 15～10 : 30	オリエンテーション	日程、資料等の確認
10 : 30～11 : 00	講義 1 「ケアラー支援の現状と課題」	ケアラー支援について、現状と課題、国の動向等を確認し、専門職に求められる役割について再認識します。
11 : 00～15 : 30 ※12 : 00～13 : 00 昼食休憩予定	講義 2・演習 「ケアラーを支援するためのアセスメント」	ケアラー支援アセスメントシートを活用した演習（グループワーク）を通して、ケアラーに寄り添うアセスメントについて学びます。
15 : 30～16 : 00	総括	前段の演習から、改めてケアラー支援アセスメントシートの活用ポイントを学び、今後、自身が専門職としてどのようにケアラー支援をすすめていくか、考えます。
16 : 00～16 : 10	閉講	

### <ケアラー支援に関する現状>

令和 4 年 4 月に「北海道ケアラー支援条例」が施行され、今年で 3 年が経過しました。令和 7 年 7 月現在では、道内 6 市町で独自にケアラー支援に関する条例が制定されています。

国でも「認知症基本法」「医療的ケア児支援法」等、ケアラー支援（家族支援）に言及する個別法が制定されたり、令和 7 年度の「骨太の方針 2025」においてケアラー関係が明記（※）されたり等、ケアラー支援は今や地域づくりにおける重要な課題となっています。

これまで家族介護の中で「キーパーソン」「介護の担い手」としての役割を果たしてきたケアラー（家族介護者）ですが、近年ではケアラー自身の心身の不調や孤独・孤立、介護離職（ワーキング ケアラー問題）、介護殺人・自殺等の課題がみえてきました。また、小中高校において、ひとクラスに 1～2 人のヤングケアラーが存在していることもわかり、ケアラー問題は大きな社会課題であることが認識されています。

※令和 7 年度より、「誰一人取り残さない社会の実現（共生・共助）」にケアラー支援が明記されています